

2023年度 KES活動における生物多様性 (エコロジカルネットワーク) の取組みについて

2023. 4. 13

特定非営利活動法人 KES環境機構

2023年度KESエコロジカルネットワークの状況(4/7現在)

□ 希少植物の域外保全

	今年度申込	2014年度からの累計
－ フタバアオイ (2014-)	29 鉢	458 鉢+小学校6校の育成分
－ フジバカマ (2014-)	14	285
－ ヒオウギ (2015-)	12	170
－ キクタニギク (2015-)	10	186
－ オミナエシ (2016-)	6	33
－ カワラナデシコ (2016-)		72
－ アヤメ (2017-)	25	33
－ ワレモコウ (2017-)	12	26
－ クリンソウ (2018-)		29
－ ノカンゾウ (2019-)		23
－ タムラソウ (2020-)		24
－ ノハナショウブ (2021-)		15
－ イワギボウシ (2021-)	13	34

□ 自社敷地内緑化活動

	2016年度からの累計
－ 屋上緑化	21組織
－ 壁面緑化	21
－ 地上緑化	76
－ 雨庭緑化	5

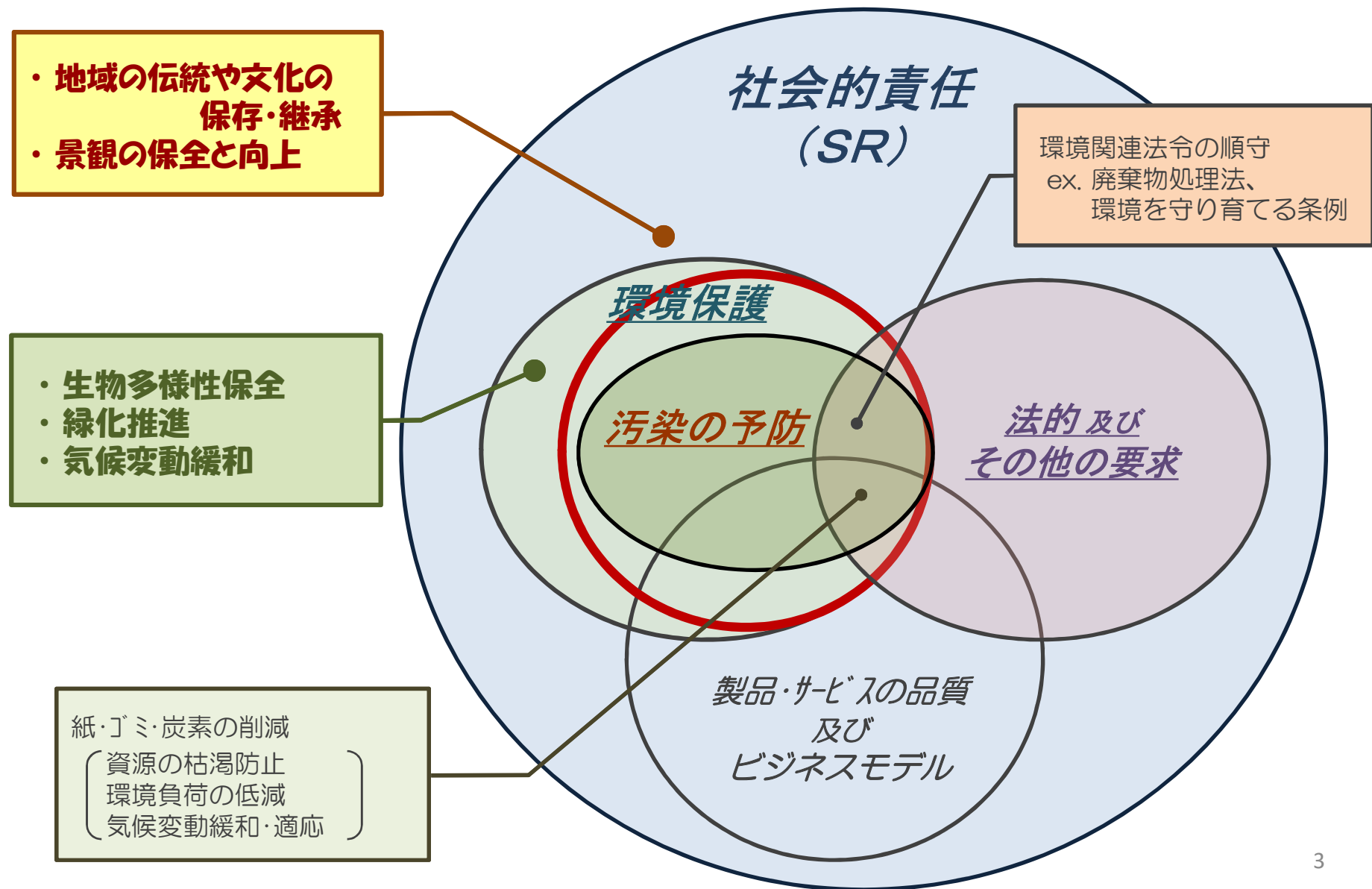
□ その他生態系保全活動

	2016年度からの累計
－ まちなかの緑化	13組織
－ モデルフォレスト参加	6
－ 宝ヶ池「宝の方舟」参加	7
－ KES推奨の活動参加	52

新規参加組織	9
継続組織	242
合計 259(昨年度) ⇒	251

京都市内組織	210
京都府下組織	38
他府県組織	3

エコロジカルネットワーク活動の位置づけ



エコロジカルネットワークの「社会的活動」としての意義

1. 京都の文化・伝統の保全・継承への貢献

フタバアオイ・・・葵祭
ヒオウギ・・・祇園祭

2. 京都の風土を代表する景観の保存・再現に寄与

キクタニギク・・・東山・菊溪川河川敷での自生風景

3. 他の希少生物との関わりや共生光景の再現の場づくり

フジバカマ・・・アサキマダラ(蝶)の飛来・吸蜜行動

4. 気候変動の緩和・気候変動への適応

屋上・壁面緑化による遮熱効果
(→省エネ→CO2排出削減)

地上緑化・雨庭による蓄雨・浸透効果で、
豪雨による冠水や土壌流失等を防止

5. 生態系保全活動への参画

森林保全活動による保水力の確保(→土砂流出の防止)や
動物の生息域保全(→獣害防止)効果



11-4



15-5



17-17



13-1, 3



11-3, 5



15-1, 2

※SDGs 17ゴールNo. のうしろ(-O)はターゲット No.



11-3~5

- 3 だれも排除しない持続可能な都市化を進め、参加型で差別のない、持続可能な人間居住を計画・管理する能力を強化する。
- 4 世界の文化遺産、自然遺産を保護・保全する取組みを強化する
- 5 水関連災害を含め、災害による死者や被災者を大きく減らす。



13-1, 3

- 1 気候関連の災害や自然災害に対するレジリエンスと適応力を強化する。
- 2 気候変動の緩和策と適応策、影響の軽減、早期警戒に関する教育、人的能力、組織の対応能力を改善する。



15-1, 2, 5

- 1 陸域・内陸淡水生態系とそのサービス、特に森林、湿地、山地、乾燥地の保全と回復、持続可能な利用を確実なものにする。
- 2 あらゆる種類の森林の持続可能な経営を促進し、森林減少を止め、劣化した森林を回復させ、新規植林と再植林を大幅に増やす。
- 5 自然生息地の劣化を抑え、生物多様性の損失を止め、絶滅危惧種を保護して絶滅を防ぐため、緊急かつ有効な対策を取る。



17-17

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略にもとづき、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励し、推進する。

環境改善目標への展開方法(例)

1. 中期(3ヶ年)計画

1) 希少植物の生息域外保全活動

- ① 単年度毎に育成種を増やす又は株数を増やす。

ex. 3年間で3種、3年間で20株

- ② 生息域への返納イベントに参加する。

ex. 2年目以降奉納式「葵里帰り」に参加し、5株以上を奉納

2) 敷地内緑化活動

単年度毎に行程を進捗させる。

ex. 初年度…計画策定・予算化、

2年目…植栽基盤工事→樹木・草本の植栽

3年目…育成のルーティン化

3) (その他)生態系保全活動

社員有志で地域や活動団体の保全活動に参加

ex. 初年度…社内啓発・有志募集・参加対象となる活動の選定、

2年目以降…活動への参加・参加人数の増加

（付表－１）中長期の環境改善目標の概要並びに単年度実績 ： 例２（生物多様性）

ケース	区 分	環境改善目標 (SR課題) (中長期)	基準年度実績		単年度目標と実績		
			20WW 年度		20XX 年度	20YY 年度	20ZZ 年度
1	希少植物の 生息域外 保全活動	3年間で3種	—	目標	フタバアオイ	フジバカマ	ヒオウギ
				実績			
2	自社敷地内の 緑化活動	屋上緑化 壁面緑化 地上緑化 雨庭緑化	—	目標	計画（予算化等）	植栽基盤工事 樹木・草本植栽	育成
				実績			
3	生態系 保全活動	1. まちなかの緑化 2. 里山里地保全活動 ①京都モデルフォレスト協会 ②宝が池の森再生保全協議 ③その他（ ） 3. KES推奨活動	—	目標	団体活動に 参加申請・認可	活動に参加	活動に参加
				実績			
4							

環境改善目標への展開方法(例)

2. 単年度計画(目標と進捗管理)

- 1) **月次ないし3ヶ月毎に、その期間で「何をするのか？」を決めておき、**その実施度によって(○・△・× 等で)評価する。
記録・証拠には、写真、観察日記、参加申込書、参加証、参加報告書等
を活用する。
- 2) **時節によって注意、注力すべきこと**を予め特定し実施度の評価対象
に加えれば、より質の高い目標管理になる。
- 3) 実績を数値化しにくい場合は、「**実施度評価＝適合性評価**」
にすれば簡潔。
- 4) **特異な気象状況**(台風、豪雨、猛暑、異常乾燥など)をその都度記録
しておくと、**活動実績・成果との関係性を推し量るのに役立つこと**
があり、自然への取り組みに相応しい“知的財産”にもなる。

(付表－２)

20××年度

環境改善計画書兼進捗管理書 (20××年×月～20××年×月)

〇〇△△株式会社

[生物多様性・参考事例：１]

計画書制定日：20××年×月×日

実績記入日：20××年×月×日

環境改善目標		具体的施策	目標と日程												実行責任者
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 生物多様性 「京都市生物多様性 プラン」に基づく緑 化活動（稀少植物の 生息域外保全） （年間1株以上）	1.1 フタバアオイ	目標	計画	説明会	植栽	育成	育成	育成	育成	育成	育成	育成	育成	成長	▲▲
	1.2 フジバカマ	実績・実施	○	○	○										
	1.3 ヒオウギ	観察・成長度				写真①	写真	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	写真⑦	写真⑧	写真⑨	
	1.4 キクタニギク	・昆虫、鳥				記録①	記録	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	記録⑦	記録⑧	記録⑨	
	1.5 カワラナデシコ	・特記事項				特記①		特記②		特記③			特記④		
	1.6 ワレモコウ	適合性評価	A	A	A	A	B	A	C	B	A	A	A	A	
	1.7 ノハナショウブ														
	1.8 イワギボウシ														
2 生物多様性 「京都市生物多様性 プラン」に基づく緑 化活動（自社敷地内 の緑化活動） （年間1活動以上）	2.1 屋上緑化（3㎡以上）	目標	計画	計画	計画	補助金	補助	補助金	植栽	育成	育成	育成	育成	完成	◎◎
	2.2 壁面緑化（3㎡以上）	実績・実施	○	○	○	○	○	○							
	2.3 地上緑化（樹木等3㎡以上）	観察・成長度							写真①	写真②	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	
	2.4 雨庭緑化	・昆虫、鳥							記録①	記録②	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	
		・特記事項							特記①	特記②			特記③		
		適合性評価	A	A	A	C	A	A	A	C	B	A	A	A	
3 生物多様性 「京都市生物多様性 プラン」に基づく 生態系保全活動 （年間1活動以上）	3.1 まちなかの緑化	目標	計画	計画	計画	届	届	届	活動	活動	活動	活動	活動	活動	××
	3.2 里山里地保全活動	実績・実施	○	○	○	○	○	○							
	①京都モデルフォレスト協会	観察・							写真①	写真②	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	
	②宝が池の森再生保全協議会	・							記録①	記録②	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	
	③その他（ ）	・特記事項							特記①		特記②			特記③	
	3.3 KESエコロジカルネット ワークが推薦する保全活動	適合性評価	C	B	A	C	B	A	A	C	B	A	A	A	
環境管理責任者の確認評価 （毎月行う）		総合適合性評価													◇◇
		不適合の内容													
		修正対策													
最高責任者の評価コメント（3ヶ月ごとに行う）															○○

適合性評価基準：達成度 A良好（100%以上達成）、Bやや不足（90%以上達成）、C不適合（90%未満）

総合適合性評価は一番悪いものの評価を記入する。

注：C不適合と判定された場合、直ちに原因を調査し、修正処置を講ずること。Bやや不足となった場合、Bが2ヶ月以上連続すれば予防処置を講ずる。

(付表－2①)

[生物多様性・参考事例：2]

20××年度

環境改善計画書兼進捗管理書 (20××年×月～20××年×月)

〇〇△△株式会社

計画書制定日：20××年×月×日

実績記入日：20××年×月×日

環境改善目標	具体的施策		目標と日程												実行責任者
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 生物多様性	フタバアオイ	目標	計画	説明会	植栽	写真展	育成	育成	写真展	育成	育成	育成	育成	写真展	▲▲
「京都市生物多様性プラン」に基づく緑化活動（希少植物の生息域外保全） （年間1株以上）	・定期的にオンライン写真展投稿 ・（上賀茂神社の葵の森に奉納）	実績・実施	○	○	○										
		観察・成長度				写真①	写真②	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	写真⑦	写真⑧①	写真⑨	
		・昆虫、鳥				記録①	記録②	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	記録⑦	記録⑧	記録⑨	
		・特記事項				投稿		特記②	投稿		特記③			投稿	
		適合性評価	A	A	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	
2 生物多様性	フジバカマ	目標	計画	説明会	植栽	育成	育成	育成	写真展	育成	育成	育成	育成	育成	◎◎
「京都市生物多様性プラン」に基づく緑化活動（希少植物の生息域外保全） （年間1株以上）	ノカンゾウ オミナエシ タムラソウ カワラナデシコ アヤメ ワレモコウ クリンソウ ノハナショウブ イワギボウシ ・定期的にオンライン写真展投稿 ・（朱雀の庭に展示）	実績・実施	○	○	○										
		観察・成長度				写真①	写真②	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	写真⑦	写真⑧①	写真⑨	
		・昆虫、鳥				記録①	記録②	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	記録⑦	記録⑧	記録⑨	
		・特記事項				特記①		特記②	投稿					特記④	
		適合性評価	A	A	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	
3 生物多様性	キクタンギク	目標	計画	説明会	植栽	育成	育成	育成	育成	写真展	育成	育成	（株提供）	（現地植栽）	◎◎
「京都市生物多様性プラン」に基づく緑化活動（希少植物の生息域外保全） （年間1株以上）	・定期的にオンライン写真展投稿 ・（京都駅ビル緑水歩廊展示） ・菊溪再生に株を提供し植栽に参加	実績・実施	○	○	○										
		観察・成長度				写真①	写真②	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	写真⑦	写真⑧①	写真⑨	
		・昆虫、鳥				記録①	記録②	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	記録⑦	記録⑧	記録⑨	
		・特記事項				特記①		特記②	特記③	投稿				（菊溪）	
		適合性評価	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	
4 生物多様性	ヒオウギ	目標	計画	説明会	植栽	育成	写真展	育成	育成	育成	育成	育成	育成	育成	××
「京都市生物多様性プラン」に基づく緑化活動（希少植物の生息域外保全） （年間1株以上）	・定期的にオンライン写真展投稿 ・（祇園祭のエコ屋台村に展示）	実績・実施	○	○	○										
		観察・				写真①	写真②	写真③	写真④	写真⑤	写真⑥	写真⑦	写真⑧①	写真⑨	
		・				記録①	記録②	記録③	記録④	記録⑤	記録⑥	記録⑦	記録⑧	記録⑨	
		・特記事項				特記①	投稿	特記②			特記③			特記④	
		適合性評価	A	A	A	A	A	A	C	B	A	A	A	A	
環境管理責任者の確認評価 （毎月行う）		総合適合性評価													◇◇
		不適合の内容													
		修正対策													
最高責任者の評価コメント（3ヶ月ごとに行う）															〇〇

適合性評価基準：達成度 A良好（100%以上達成）、Bやや不足（90%以上達成）、C不適合（90%未満）

総合適合性評価が一番悪いものの評価を記入する。

注：C不適合と判定された場合、直ちに原因を調査し、修正処置を講ずること。Bやや不足となった場合、Bが2ヶ月以上連続すれば予防処置を講ずる。

備考：この改善計画書兼進捗管理書例は希少種植物の生息域外保全に関する記載例を示しています。KESの改善目標として植物種ごとに一つの改善目標とできる訳では無く、1種～13種の希少種の栽培全体で一つの改善目標として扱いますのでご注意ください。

環境改善目標への設定にあたっての留意事項

1. 「京都市生物多様性プラン」にもとづく緑化活動の
各カテゴリー(希少植物の生息域外保全、自社敷地内の緑化、生態系保全)毎に
ひとつの環境改善目標とする。
※ 育成種毎や参加する活動団体毎に改善目標項目に数えるものではない。
2. できれば・・・
組織にとっての取組みの「主題」を明確にして、活動実績に対する
検証・評価 (2.3.5(1)) や 最高責任者による評価 (1/2.3.6) の 基準を
判りやすくしておくのがより望ましい。
※ エコロジカルネットワークの取組みもP・D・C・Aで継続的改善を！
3. 是非一度、「KSEエコロジカルネットワーク 2023年度取組み基準」
(KES環境機構ホームページの「トピックス 2023. 3. 1付」に掲載)
に目を通しておいて下さい。

ありがとうございました。